

令和4年度 事業報告

公益財団法人亀岡市スポーツ協会は、「スポーツに親しみ、スポーツで笑顔、スポーツで元気な亀岡」の実現を目指して、新型コロナウイルス感染症が続く中、市民スポーツの一層の推進と競技力向上のため、感染対策を講じながら諸事業を実施した。

また、「京都亀岡ハーフマラソン大会」も3年ぶりに規模を縮小し、ハーフマラソン部門のみの開催として実施した。

【重点事項】

1 運営基盤の整備並びにスポーツ協会の機能の充実

諸事業の推進に必要な財源を確保するため、賛助会員を募り財源確保に努めるとともに、本協会が所有するスポーツ用具や印刷機についても、使用料を徴収し事業充実のため、用具等の補充や加盟団体の事業の支援を行った。

2 市民スポーツの振興

月に1回の生涯スポーツデーやグラウンド・ゴルフを楽しむ会は、誰もが気軽に参加できる事業として実施した。第71回亀岡平和祭市民スポーツ大会総合開会式では、3年ぶりにオープニング（亀岡市吹奏楽団）の実施、かめおかスポーツフェスティバルや亀岡市民駅伝競走大会も3年ぶりに開催し、賑わいを見せるなど生涯スポーツの推進、市民の健康増進を図ることができた。

3 競技力の向上

第45回京都府民総合体育大会は、3年ぶりに市町村対抗競技大会として実施、亀岡市選手団は4種別において優勝し、その他の競技においても優秀な成績を収め、選手をはじめ関係の皆様のご御努力により総合第2位と大変健闘した。

ジュニア選手においても、多数の選手が活躍することができた。

4 指導者の資質の向上と養成

指導者の育成と資質の向上を図るため、デフリンピックを経験された末吉風さんの講演会を実施した。

スポーツ協会の表彰式において、本協会や加盟団体の組織運営に従事し、スポーツ振興並びに発展に貢献し、功績の顕著な方の表彰を行った。

5 スポーツ少年団の育成と拡充

活動強化事業として運動公園周辺の清掃活動の実施とスポーツ活動「ドッチビー」を実施し、団員相互の交流を深めた。指導者・登録制度の改定に伴い、スタートコーチの資格取得を促す等、指導者の育成に努めた。

6 都市間交流事業の推進

京都市西京区と亀岡市は、軟式野球競技、グラウンド・ゴルフ競技において都市間交流事業を実施した。

7 指定管理施設の有効活用

本協会が管理している社会体育施設は、安全・安心な状態で使用できるよう維持管理に努めた。